

日常の中のアンコンシヤス・バイアス(無意識・無自覚の差別や偏見) によっておこる人権侵害について考える

●自分の中の隠れた思い込み

「アンコンシヤス・バイアス」とは、無意識の偏見という意味で、自分の中にある「きつこさうだろ」という隠れた思い込みのことです。例えば「男性は理系が得意で女性は文系が得意」「単身赴任と聞くと父親が赴任中だと思う(母親を思い浮かべない)」などです。思い当たる節がありませんか。この無意識の偏見は「思い込み」「決めつけ」「押しつけ」となり、相手を傷つけたりストレスを与えたりすることがあります。

無意識の偏見が生まれる原因は、脳が過去の経験や知識、価値観等をベースとして総合的に、かつ瞬時に判断する機能を持っているからで、その機能自体は必要なのですが、災害時等の危機的状況に陥っても周りが動かないと自分も逃げないというような「正常性バイアス」のように逆効果を招いてしまう場合もあります。

●マイナス的な要素の例

東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の前会長が評議員会で、女性理事の人数が少ないという問題に対して「女性がたくさん入っている理事会は時間がかる」などと発言しました。話が長いか短いかは個々の人の性質によるもので、性別は関係しません。

また「組織委員会の女性委員は立場をわきまえておられる」との発言もありましたが、男性中心の組織文化に追従するだけのお飾り委員と評されたようなものです。本人は褒めているつもりでしょうが大変失礼な発言です。多様性を無視した時代錯誤な女性蔑視発言は世界中から批判を浴びました。自分の中にある「無意識の偏見」に気づいていけば、このような結果にはならなかったはずですよ。

●まとめ

日常的に無意識に悪意のない言動は、本人も周りも気づきにくく、当事者もおかしいと思っても声に出しづらいものです。相手の表情など気になることがあれば、そのままにせずメモに残すなどしてみましよう。後から振り返ることにより「自分の中に隠れた思い込みがある」ことに気づき意識できるようになれば、人間関係が良くなり、差別や偏見のない誰もが暮らしやすい社会を作ることができます。

町内外の人権に関する研修会に参加して、アンコンシヤス・バイアスに気づき、人権感覚を深めていきましょう。



《ひとりで悩まず、まずは相談を》

【11月12日～25日 「女性に対する暴力をなくす運動」期間】

パートナーや恋人からの暴力、ストーカー行為、セクシュアル・ハラスメント等の「被害に遭った」「自分は被害者かもしれない」と思ったら、まずはご相談ください。

鳥取県西部総合事務所 県民福祉局

DV・ひきこもり担当

☎0859-31-9304

【11月12日～18日 全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間】

全国の法務局でDV・ストーカーなど女性をめぐる様々な人権問題の相談を受け付けています。

☎0570-070-810

(直通電話)

《大山町人権・同和教育推進大会》

日時 11月27日(土)13時30分～15時30分

場所 中山温泉生活想像館わくわくホール

演題 「幸せを運んだ人形たち」

内容 阿波木偶箱まわし保存会による講演と実演

定員 80名

※要申込 11月15日までに人権推進室までお申し込みください。

※手話通訳あり

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては開催方法、内容の変更及び中止になる場合があります。

人権推進室

☎0859-54-2286

☎0859-54-2413

☎0859-54-2413

☎0859-54-2413

☎0859-54-2413

☎0859-54-2413